

本物の医療秘書(医療クランク)が学べる 専門学校静岡医療秘書学院

日本医師会が認定した静岡県内唯一の医療秘書専門学校

医療事務科・医療秘書科を設置している教育機関（大学・短大・専門学校）は全国に200校以上あるが、日本医師会が実際に認めている教育機関は、全国で16校のみであり、本学院は其の内の1校として、高い評価を受けている。

元々は静岡県医師会が通信制教育から始めた医療教育機関

- 1968年 静岡県医師会副看護学院として開校（看護師のサポート）
- 1976年 静岡県医師会MS学院と改名（医師のサポート：医療秘書）
- ※上記までは、医療機関従事者のみ入学可で通信制
- 1984年 静岡県医師会医療秘書学院と改名（一般公募始まる。通信制）
- ※医療界の高度化・複雑化に伴い通信制では限界有りと判断
- 1991年 学校法人静岡女子商業学園（現：学校法人長嶋学園）が受託
- 1993年 専門学校静岡医療秘書学院（全日2年制、男女共学）開校

学院長は静岡県医師会長、学院運営委員は医師会理事

近年の学院長紹介（3期前まで）

現在	紀平幸一（伊豆市）	2018年6月～現在に至る
前回	篠原 彰（焼津市）	2014年6月～2018年6月
前々回	鈴木勝彦（浜松市）	2008年6月～2014年6月

現在の学院運営委員メンバー（学院長以外の静岡県医師会理事のみ列举）

小林利彦（浜松医科大学特任教授）	秋山欣丈（秋山医院長：富士市）
岡慎一郎（岡外科医院長：静岡市）	荻野和功（聖隷三方原病院長）
小野宏志（医療法人社団心理士長：浜松市）	宮下 正（静岡市立静岡病院理事長：静岡市）

国家試験ではないが「日本医師会」認定資格は全国で通用

日本医師会医療秘書認定試験（医師事務作業補助者認定のための基礎研修が免除）
全医秘協医療保険請求事務実技試験

※上記は、日本医師会認定校の16校のみ受験可能（本校は95%以上が合格）

就職希望者決定率100%（静岡県医師会より県内の会員医師に学生紹介）

県内全域の医療機関から求人が来る（例：2020年3月卒業生22名 求人数150以上 7倍）
病院にも医療クランク（医師事務作業補助者候補）として求人増加中（派遣社員ではない）
卒業後の転職もサポート（本校には経験者の求人も有り）

学費は県内トップクラスに安い（さらに修学支援新制度認可校）